

(資料 1)

国保情報集約システム
外部インタフェース仕様書
(抜粋)

2016年 12月22日 (第1.3版)

3 ファイルフォーマット

3.1 資格情報（世帯）ファイル（市町村→国保情報集約システム）

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
1	世帯特定情報	市町村保険者番号	英数	8	所属市町村の保険者番号を設定する。所属市町村が政令市の場合は政令指定都市代表コードを設定する。 (法別(00) + 都道府県コード(01~47) 2桁 + 保険者(市町村)別番号 3桁 + チェックデジット 1桁)	◎	
2		データ区分	英数	1	データの資格加入状態を表す区分を設定する。 0: 加入中 1: 喪失中または適用終了 2: 被保険者証番号変更前旧データ・市町村合併前旧データ	◎	
3		被保険者証記号	漢字 / 英数	20	国保被保険者証の記号を設定する。	○	※2 ※3
4		被保険者証番号	漢字 / 英数	20	国保被保険者証の番号を設定する。	◎	※2
5		世帯番号	英数	11	世帯番号により世帯を管理している市町村の場合、所属市町村内で世帯を特定する番号を設定する。	○	※2
6		行政区保険者番号	英数	8	所属市町村が政令市の場合、行政区保険者番号を設定する。	○	
7	市町村合併・旧番号情報	市町村合併・旧番号情報 旧市町村保険者変更日	英数	8	所属市町村の市町村合併が行われた日を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	
8		市町村合併・旧番号情報 旧市町村保険者番号	英数	8	所属市町村の市町村合併前の市町村保険者番号を設定する。	○	※2 6
9		市町村合併・旧番号情報 旧被保険者証記号	漢字 / 英数	20	旧被保険者証記号を設定する。	○	※2 ※3 ※2 6
10		市町村合併・旧番号情報 旧被保険者証番号	漢字 / 英数	20	旧被保険者証番号を設定する。	○	※2 ※2 6

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
11		市町村合併・旧番号情報_旧世帯番号	英数	11	旧世帯番号を設定する。	○	※2 ※26
12		市町村合併・旧番号情報_旧番号有効日	英数	8	被保険者証記号、被保険者証番号、世帯番号および行政区保険者番号のいずれかを変更した日の前日、または市町村合併時に旧番号を変更した日の前日を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	
13		市町村合併・旧番号情報_旧行政区保険者番号	英数	8	所属市町村が政令市の場合、旧行政区保険者番号を設定する。	○	※26
14	基本情報	基本情報_世帯主氏名(カナ)	英数	100	世帯主の氏名(カナ)を半角文字で設定する。	◎	※11
15		基本情報_世帯主氏名(漢字)	漢字	50	世帯主の氏名(漢字)を全角文字で設定する。	◎	※12 ※13
16		基本情報_世帯主氏名(カナ)文字数・未登録外字有無	英数	1	世帯主の氏名(カナ)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※5
17		基本情報_世帯主氏名(漢字)文字数・未登録外字有無	英数	1	世帯主の氏名(漢字)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※5
18		基本情報_郵便番号(管理用)	英数	8	管理用の郵便番号を[3桁]-[4桁]の形式で設定する。	◎	※6
19		基本情報_住所(管理用)	漢字	50	管理用の住所を設定する。	◎	※13 ※14
20		基本情報_番地(管理用)	漢字	50	管理用の番地を設定する。	◎	※15
21		基本情報_方書(管理用)	漢字	50	管理用の方書を設定する。	○	※13
22		基本情報_電話番号(管理用)	英数	20	管理用の電話番号を設定する。	○	
23		基本情報_住所(管理用)文字数・未登録外字有無	英数	1	住所(管理用)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※5
24		基本情報_方書(管理用)文字数・未登録外字有無	英数	1	方書(管理用)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※5
25		基本情報_世帯主氏名(カナ)(発送用)	英数	100	発送用の世帯主の氏名(カナ)を半角文字で設定する。	○	※11

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考	
26		基本情報_世帯主氏名(漢字)(発送用)	漢字	50	発送用の世帯主の氏名(漢字)(発送用)を全角文字で設定する。	○	※12 ※13	
27		基本情報_世帯主氏名(カナ)(発送用)文字数・未登録外字有無	英数	1	世帯主の氏名(カナ)(発送用)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※5	
28		基本情報_世帯主氏名(漢字)(発送用)文字数・未登録外字有無	英数	1	世帯主の氏名(漢字)(発送用)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※5	
29		基本情報_郵便番号(発送用)	英数	8	発送用の郵便番号を[3桁]-[4桁]の形式で設定する。	○	※6	
30		基本情報_住所(発送用)	漢字	50	発送用の住所を設定する。	○	※13 ※14	
31		基本情報_番地(発送用)	漢字	50	発送用の番地を設定する。	○	※15	
32		基本情報_方書(発送用)	漢字	50	発送用の方書を設定する。	○	※13	
33		基本情報_電話番号(発送用)	英数	20	発送用の電話番号を設定する。	○		
34		基本情報_住所(発送用)文字数・未登録外字有無	英数	1	住所(発送用)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※5	
35		基本情報_方書(発送用)文字数・未登録外字有無	英数	1	方書(発送用)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※5	
36		基本情報_地区統計コード(リスト出力用)	英数	8	リスト出力用の地区統計コードを設定する。	○	※28	
37		基本情報_行政区コード(リスト出力用)	英数	5	リスト出力用の行政区コードを設定する。	○	※28	
38		基本情報_世帯区分	英数	1	世帯区分を設定する。 1:一般世帯 2:退職単独世帯 3:混合世帯	◎		
39		7) 世帯異動履歴(※4)(※2)	世帯異動履歴_異動届出日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用を開始、終了または変更を届出した日付を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	◎	
40			世帯異動履歴_異動年月日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用を開始した日付、終了した日付(適用されなくなった初日)または変更した日付(変更した初日)を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	◎	

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
41		世帯異動履歴_異動事由	英数	2	所属市町村内において、国保の適用を開始、終了または変更した事由を設定する。	◎	※7
42		世帯異動履歴_国保適用開始届出日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用の開始を届出した日付を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	◎	※16
43		世帯異動履歴_国保適用開始年月日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用を開始した日付を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	◎	※17 ※22
44		世帯異動履歴_国保適用開始事由	英数	2	所属市町村内において、国保の適用を開始した事由を設定する。	◎	※8
45		世帯異動履歴_国保適用終了届出日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用の終了を届出した日付を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※18
46		世帯異動履歴_国保適用終了年月日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用を終了した日付（適用されなくなった初日）を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※19 ※22
47		世帯異動履歴_国保適用終了事由	英数	2	所属市町村内において、国保の適用を終了した事由を設定する。	○	※9
48		世帯異動履歴_国保適用変更届出日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用情報の変更を届出した日付を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※20
49		世帯異動履歴_国保適用変更年月日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用情報を変更した日付（変更した初日）を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※21
50		世帯異動履歴_国保適用変更事由	英数	2	所属市町村内において、国保の適用情報を変更した事由を設定する。	○	※10 ※23
51		世帯異動履歴_世帯主宛名番号	英数	12	世帯主の宛名番号を設定する。 なお、宛名番号は、市町村内で個人を特定する番号である。	◎	
52		世帯異動履歴_世帯主区分	英数	1	世帯主区分を設定する。 1：普通世帯主 2：擬制世帯主	◎	
53		世帯異動履歴_旧世帯主宛名番号	英数	12	旧世帯主の宛名番号を設定する。 なお、宛名番号は、市町村内で個人を特定する番号である。	○	※24

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
54	別子 終了識	終了識別子	英数	2	「E1」を設定する。	◎	
55	予備項目	予備1	英数	30	予備項目。市町村にて管理している独自の値を任意で設定する。	△	※25
56		予備2	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
57		予備3	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
58		予備4	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
59		予備5	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
60		予備6	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
61		予備7	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
62		予備8	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
63		予備9	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
64		予備10	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	

※1 必須区分 (◎: 必須、○: パターン毎に必須、△: 任意設定、—: NULL (設定しない))

※2 被保険者証記号・被保険者証番号を世帯単位ではなく、被保険者単位で設定している場合、世帯特定情報の被保険者証記号・被保険者証番号には世帯主の被保険者証記号・被保険者証番号を設定し、世帯特定情報の世帯番号には世帯番号を設定する。

市町村内で高額該当情報を引き継ぐ場合、旧被保険者証記号・旧被保険者証番号および旧世帯番号を設定する。

※3 被保険者証記号がある場合は設定する。

※4 履歴は先頭を最新の履歴とし、以降、遡って設定する。なお、設定可能な履歴の数は、最新の履歴から数えて99履歴とする。

※5 市町村から国保情報集約システムに連携する際は、文字切れがある場合に「1: 文字切れ」を設定する。国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する際は、文字切れおよび未登録外字がある場合に「1: 文字切れ」、「2: 未登録外字あり」または「3: 文字切れ、未登録外字あり」のいずれかを設定する。

※6 郵便番号が不明の場合、「000-0000」を設定する。

※7 異動事由コードの内容については「表3-4 異動事由コード」を参照。

※8 国保適用開始事由コードの内容については「表3-1 国保適用開始事由コード」を参照。

※9 国保適用終了事由コードの内容については「表3-2 国保適用終了事由コード」を参照。

- ※10 国保適用変更事由コードの内容については「表3-3 国保適用変更事由コード」を参照。
- ※11 半角のアルファベットの設定も可とする。
- ※12 全角のアルファベットの設定も可とする。
- ※13 未登録外字が設定されている場合、国保情報集約システムにて「△」（デルタ）に変換する。国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する際は、「△」（デルタ）をそのまま設定する。
- ※14 都道府県名、市町村名および政令市の区名を含めた住所を設定する。
- ※15 番地を住所に含めて設定する場合、番地に全角スペースを1つ以上設定する。
- ※16 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格取得届出日を設定する。
- ※17 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格取得年月日を設定する。
- ※18 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格喪失届出日を設定する。
- ※19 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格喪失年月日を設定する。なお、国保資格を喪失した翌日ではなく当日として管理していた場合、国保資格喪失年月日の翌日を設定する。
- ※20 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格変更届出日を設定する。
- ※21 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格変更年月日を設定する。
- ※22 同日得喪とする場合、国保適用終了年月日に国保適用開始年月日と同日を設定する。
- ※23 世帯主区分を「1：普通世帯主」から「2：擬制世帯主」に変更する場合、国保適用変更事由は「70：その他」を設定する。
- ※24 国保適用変更事由が「63：世帯主変更」の場合、必須とする。
- ※25 本項目については、国保連合会の指示に従って値を設定する。なお、設定した値については、国保情報集約システムに取り込み、次期国保総合システムに連携する。
- ※26 市町村合併・旧番号情報には市町村内の異動において、世帯特定情報を変更した際、変更前の世帯特定情報を設定する。このとき、変更前の世帯特定情報（市町村保険者番号、被保険者証記号・被保険者証番号、世帯番号および行政区保険者番号）のうち、変更した項目のみを設定する。
- ※27 世帯異動履歴における履歴の取扱いについては以下のとおりとする。
 - ・国保の適用を開始する異動が発生した場合、世帯異動履歴に履歴を追加する。さらに、国保の適用を終了した後に、同じ市町村にて再度国保の適用を開始する際、適用終了前に使用していた世帯特定情報（市町村保険者番号、被保険者証記号・被保険者証番号、世帯番号および行政区保険者番号）を使用する場合、世帯異動履歴に履歴を追加する。
 - ・資格の得喪にかかわらない異動（国保の適用を開始する異動、国保の適用を終了する異動、または国保の適用情報を変更する異動のいずれにも該当しない異動）が発生した場合、世帯異動履歴には履歴を追加しない。
 - ・適用開始後に資格の得喪にかかわる異動（国保の適用を終了する異動、または国保の適用情報を変更する異動）が発生した場合、世帯異動履歴に履歴を追加する。
- ※28 桁数に満たない場合は前ゼロを付加する。

【資格情報（世帯）ファイルの補足（コード表）】

国保適用開始事由コード表

表 3-1 国保適用開始事由コード

No.	コード記号	意味
1	01	転入（※1）
2	02	社保離脱
3	03	生保廃止
4	04	出生
5	05	世帯分離
6	06	世帯合併
7	07	転居
8	08	職権回復
9	09	その他（※2）
10	10	月報外（※3）
11	11	市町村合併
12	13	後期高齢者医療制度離脱
13	14	月中社保離脱（※4）
14	15	月中国保組合離脱（※5）
15	16	世帯間異動

- ※1 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村から転入した場合に設定する。また、他都道府県または国外から転入した場合に設定する。
- ※2 国保適用開始事由のコード記号01～08、10～16に該当しない事由の場合に設定する。なお、「15：月中国保組合離脱」に該当しない国保組合離脱の場合にも設定する。
- ※3 世帯主区分が擬制世帯主である世帯が適用を開始する場合に設定する。
- ※4 世帯主が75歳年齢到達により社保離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が国民健康保険制度に加入する場合に設定する。
- ※5 世帯主が75歳年齢到達により国保組合離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が市町村の国民健康保険制度に加入する場合に設定する。

国保適用終了事由コード表

表 3-2 国保適用終了事由コード

No.	コード記号	意味
1	41	転出（※1）
2	42	社保加入
3	43	生保開始
4	44	死亡
5	45	世帯分離
6	46	世帯合併
7	47	転居
8	48	職権抹消（※3）
9	49	その他（※2）
10	50	月報外（※4）
11	51	後期高齢者医療制度加入（年齢到達）

No.	コード記号	意味
12	52	後期高齢者医療制度加入（障害認定）
13	54	世帯間異動

- ※1 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村へ転出した場合に設定する。また、他都道府県または国外へ転出した場合に設定する。
- ※2 国保適用終了事由のコード記号41～48、50～54に該当しない事由の場合に設定する。
- ※3 国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日の場合、1日も国保資格を有していない世帯として扱う。
また、国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日でない場合、国保適用開始年月日から国保適用終了年月日の前日までを国保資格を有している期間として扱う。
- ※4 世帯主区分が擬制世帯主である世帯が適用を終了する場合に設定する。

国保適用変更事由コード表

表 3-3 国保適用変更事由コード

No.	コード記号	意味
1	63	世帯主変更
2	70	その他
3	74	世帯分離
4	75	世帯合併
5	98	訂正

異動事由コード表

表 3-4 異動事由コード

No.	コード記号	意味
1	01	転入（※1）
2	02	社保離脱
3	03	生保廃止
4	04	出生
5	05	世帯分離
6	06	世帯合併
7	07	転居
8	08	職権回復
9	09	その他（※2）
10	10	月報外（※6）
11	11	市町村合併
12	13	後期高齢者医療制度離脱
13	14	月中社保離脱（※7）
14	15	月中国保組合離脱（※8）
15	16	世帯間異動
16	41	転出（※3）
17	42	社保加入
18	43	生保開始
19	44	死亡

No.	コード記号	意味
20	45	世帯分離
21	46	世帯合併
22	47	転居
23	48	職権抹消 (※9)
24	49	その他 (※4)
25	50	月報外 (※10)
26	51	後期高齢者医療制度加入 (年齢到達)
27	52	後期高齢者医療制度加入 (障害認定)
28	54	世帯間異動
29	63	世帯主変更
30	70	その他 (※5)
31	74	世帯分離
32	75	世帯合併
33	98	訂正

- ※1 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村から転入した場合に設定する。また、他都道府県または国外から転入した場合に設定する。
- ※2 異動事由のコード記号01～08、10～16に該当しない事由の場合に設定する。なお、「15：月中国保組合離脱」に該当しない国保組合離脱の場合にも設定する。
- ※3 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村へ転出した場合に設定する。また、他都道府県または国外へ転出した場合に設定する。
- ※4 異動事由のコード記号41～48、50～54に該当しない事由の場合に設定する。
- ※5 異動事由のコード記号63、74～98に該当しない事由の場合に設定する。
- ※6 世帯主区分が擬制世帯主である世帯が適用を開始する場合に設定する。
- ※7 世帯主が75歳年齢到達により社保離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が国民健康保険制度に加入する場合に設定する。
- ※8 世帯主が75歳年齢到達により国保組合離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が市町村の国民健康保険制度に加入する場合に設定する。
- ※9 国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日の場合、1日も国保資格を有していない世帯として扱う。
また、国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日でない場合、国保適用開始年月日から国保適用終了年月日の前日までを国保資格を有している期間として扱う。
- ※10 世帯主区分が擬制世帯主である世帯が適用を終了する場合に設定する。

3.2 資格情報（個人）ファイル（市町村→国保情報集約システム）

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
1	個人特定情報	市町村保険者番号	英数	8	所属市町村の保険者番号を設定する。所属市町村が政令市の場合は政令指定都市代表コードを設定する。 (法別(00) + 都道府県コード(01~47) 2桁 + 保険者(市町村)別番号 3桁 + チェックデジット 1桁)	◎	
2		データ区分	英数	1	データの資格加入状態を表す区分を設定する。 0:加入中 1:喪失中または適用終了 2:被保険者証番号変更前旧データ・市町村合併前旧データ	◎	
3		被保険者証記号	漢字 / 英数	20	国保被保険者証の記号を設定する。	○	※2 ※3
4		被保険者証番号	漢字 / 英数	20	国保被保険者証の番号を設定する。	◎	※2
5		世帯番号	英数	11	世帯番号により世帯を管理している市町村の場合、所属市町村内で世帯を特定する番号を設定する。	○	※2
6		宛名番号	英数	12	所属市町村内で個人を特定する番号を設定する。	◎	※4 7
7		個人番号（マイナンバー）	英数	12	市町村から国保情報集約システムに連携する場合は、個人番号（マイナンバー）を設定する。 国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する場合は、未設定。	○	※4 ※2 3
8		予備	英数	12	予備項目。	—	
9		市町村被保険者 ID	英数	15	国保情報集約システムで付番した市町村被保険者 ID を設定する。	○	※5
10		行政区保険者番号	英数	8	所属市町村が政令市の場合、行政区保険者番号を設定する。	○	

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
11	市町村合併・旧番号情報	市町村合併・旧番号情報_旧市町村保険者変更日	英数	8	所属市町村の市町村合併が行われた日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
12		市町村合併・旧番号情報_旧市町村保険者番号	英数	8	所属市町村の市町村合併前の市町村保険者番号を設定する。	○	※45
13		市町村合併・旧番号情報_旧被保険者証記号	漢字 / 英数	20	旧被保険者証記号を設定する。	○	※2 ※3 ※45
14		市町村合併・旧番号情報_旧被保険者証番号	漢字 / 英数	20	旧被保険者証番号を設定する。	○	※2 ※45
15		市町村合併・旧番号情報_旧世帯番号	英数	11	旧世帯番号を設定する。	○	※2 ※45
16		市町村合併・旧番号情報_旧宛名番号	英数	12	旧宛名番号を設定する。	○	※45
17		市町村合併・旧番号情報_旧番号有効日	英数	8	被保険者証記号、被保険者証番号、世帯番号、宛名番号および行政区保険者番号のいずれかを変更した日の前日、または市町村合併時に旧番号を変更した日の前日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
18		市町村合併・旧番号情報_旧宛名番号有効日	英数	8	宛名番号を変更した日の前日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
19		市町村合併・旧番号情報_旧行政区保険者番号	英数	8	所属市町村が政令市の場合、旧行政区保険者番号を設定する。	○	※45
20	基本情報	基本情報_氏名 (カナ)	英数	100	被保険者の氏名 (カナ) を半角文字で設定する。	◎	※24
21		基本情報_氏名 (漢字)	漢字	50	被保険者の氏名 (漢字) を全角文字で設定する。	◎	※25 ※26
22		基本情報_通称名 (カナ)	英数	40	被保険者の通称名 (カナ) を半角文字で設定する。	○	※24 ※27
23		基本情報_通称名 (漢字)	漢字	40	被保険者の通称名 (漢字) を全角文字で設定する。	○	※25 ※26 ※27
24		基本情報_本名通称名区分コード	英数	1	0:本名 1:通称名 を設定する。	◎	

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
25		基本情報_氏名(カナ)文字数・未登録外字有無	英数	1	被保険者の氏名(カナ)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※9
26		基本情報_氏名(漢字)文字数・未登録外字有無	英数	1	被保険者の氏名(漢字)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※9
27		基本情報_通称名(カナ)文字数・未登録外字有無	英数	1	被保険者の通称名(カナ)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※9
28		基本情報_通称名(漢字)文字数・未登録外字有無	英数	1	被保険者の通称名(漢字)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※9
29		基本情報_生年月日	英数	8	被保険者の生年月日を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	◎	
30		基本情報_性別	英数	1	被保険者の性別を設定する。 1:男 2:女	◎	
31		基本情報_続柄	英数	6	世帯主との続柄を設定する。	◎	※10
32		基本情報_氏名(カナ)(送信用)	英数	100	送信用の被保険者の氏名(カナ)を半角文字で設定する。	○	※24
33		基本情報_氏名(漢字)(送信用)	漢字	50	送信用の被保険者の氏名(漢字)を全角文字で設定する。	○	※25 ※26
34		基本情報_氏名(カナ)(送信用)文字数・未登録外字有無	英数	1	送信用の被保険者の氏名(カナ)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※9
35		基本情報_氏名(漢字)(送信用)文字数・未登録外字有無	英数	1	送信用の被保険者の氏名(漢字)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※9
36		基本情報_郵便番号(送信用)	英数	8	送信用の郵便番号を[3桁]-[4桁]の形式で設定する。	○	※11
37		基本情報_住所(送信用)	漢字	50	送信用の住所を設定する。	○	※26 ※28
38		基本情報_番地(送信用)	漢字	50	送信用の番地を設定する。	○	※29
39		基本情報_方書(送信用)	漢字	50	送信用の方書を設定する。	○	※26
40		基本情報_電話番号(送信用)	英数	20	送信用の電話番号を設定する。	○	
41		基本情報_住所(送信用)文字数・未登録外字有無	英数	1	住所(送信用)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※9

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
42		基本情報_方書(発送用) 文字数・未登録外字有無	英数	1	方書(発送用)の文字切れ、未登録外字の有無を表わす区分を設定する。	○	※9
43		基本情報_住基転入前コード	英数	5	住基システム上の転入前コードを設定する。 都道府県コード(01~47)2桁 + 市町村コード3桁	○	※12
44		基本情報_住基転出先コード	英数	5	住基システム上の転出先コードを設定する。 都道府県コード(01~47)2桁 + 市町村コード3桁	○	※13
45		基本情報_住登外フラグ	英数	1	住登外で管理されている被保険者の場合に設定する。 0:住基 1:住登外	◎	
46		基本情報_性別抑止フラグ	英数	1	被保険者証に性別の印字を抑止する場合に設定する。 0:抑止しない 1:抑止する	◎	
47		基本情報_送付物抑止フラグ(個人単位)	英数	1	個人単位で各種通知・お知らせの発送を抑止する場合に設定する。 0:抑止しない 1:DV 2:その他	◎	
48		資格得喪履歴 (※6)(※43)	資格得喪履歴_国保適用開始届出日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用の開始を届出した日付を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	◎
49	資格得喪履歴_国保適用開始年月日		英数	8	所属市町村内において、国保の適用を開始した日付を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	◎	※31 ※36
50	資格得喪履歴_国保適用開始事由		英数	2	所属市町村内において、国保の適用を開始した事由を設定する。	◎	※14
51	資格得喪履歴_国保適用終了届出日		英数	8	所属市町村内において、国保の適用の終了を届出した日付を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	※32
52	資格得喪履歴_国保適用終了年月日		英数	8	所属市町村内において、国保の適用を終了した日付(適用されなくなった初日)を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	※33 ※36 ※46
53	資格得喪履歴_国保適用終了事由		英数	2	所属市町村内において、国保の適用を終了した事由を設定する。	○	※15
54	資格得喪履歴_国保適用変更届出日		英数	8	所属市町村内において、国保の適用情報の変更を届出した日付を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	※34

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
55		資格得喪履歴_国保適用変更年月日	英数	8	所属市町村内において、国保の適用情報を変更した日付（変更した初日）を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※35
56		資格得喪履歴_国保適用変更事由	英数	2	所属市町村内において、国保の適用情報を変更した事由を設定する。	○	※16
57		資格得喪履歴_国保資格取得届出日	英数	8	市町村から国保情報集約システムに連携する場合は、未設定。 国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する場合は、都道府県における国保資格の取得に係る届出日を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※17
58		資格得喪履歴_国保資格取得年月日	英数	8	市町村から国保情報集約システムに連携する場合は、未設定。 国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する場合は、都道府県における国保資格の取得日を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※17
59		資格得喪履歴_国保資格取得事由	英数	2	市町村から国保情報集約システムに連携する場合は、未設定。 国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する場合は、都道府県における国保資格の取得事由を設定する。	○	※17 ※18
60		資格得喪履歴_国保資格喪失届出日	英数	8	市町村から国保情報集約システムに連携する場合は、未設定。 国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する場合は、都道府県における国保資格の喪失に係る届出日を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※17
61		資格得喪履歴_国保資格喪失年月日	英数	8	市町村から国保情報集約システムに連携する場合は、未設定。 国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する場合は、都道府県における国保資格の喪失日を西暦年月日（YYYYMMDD）で設定する。	○	※17

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
62		資格得喪履歴_国保資格喪失事由	英数	2	市町村から国保情報集約システムに連携する場合は、未設定。 国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する場合は、都道府県における国保資格の喪失事由を設定する。	○	※17 ※19
63		資格得喪履歴_保険証回収日	英数	8	適用終了の際に、国保被保険者証の回収が終わった日付を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
64		資格得喪履歴_保険証回収事由	英数	2	国保被保険者証を回収した事由を設定する。	○	※20
65		資格得喪履歴_給付開始年月日	英数	8	当該履歴の給付が有効である最初の日付を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	※37 ※38 ※39
66		資格得喪履歴_給付終了年月日	英数	8	当該履歴の給付が有効である最後の日付を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	※37 ※38 ※39 ※40
67		資格得喪履歴_制度	英数	1	国保一般か退職の該当かどうかの区分を設定する。 0:国保一般(前期高齢該当者を含む) 1:退職本人 2:退職家族	◎	
68		資格得喪履歴_退職本人コード	英数	2	同一世帯に退職本人がいる場合、60～69の中の任意の番号を本人の識別番号として重複なく設定する。	○	※41
69		資格得喪履歴_本人との続柄	英数	6	退職本人との続柄を設定する。	○	※10
70		別子 終了識	終了識別子	英数	2	「E1」を設定する。	◎
71	43 個人異動履歴(※6)(※	個人異動履歴_異動届出日	英数	8	国保の適用を開始、終了または変更等の異動を届出した日付を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	◎	
72		個人異動履歴_異動年月日	英数	8	国保の適用を開始した日付、終了した日付(適用されなくなった初日)または変更した日付(変更した初日)等の異動を行った日付を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	◎	

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
73		個人異動履歴_異動事由	英数	2	国保の適用を開始、終了または変更等の異動を行った事由を設定する。	◎	※2 1 ※2 3
74		個人異動履歴_学遠該当	英数	1	学生用被保険者証の該当か遠隔地用被保険者証の該当かどうかの区分を設定する。 0:非該当 1:学生 2:遠隔者	◎	
75		個人異動履歴_施設入所区分	英数	1	施設入所しているかどうかの区分を設定する。 0:非該当 1:施設入所	◎	
76		個人異動履歴_住居地市町村保険者番号	英数	8	施設入所・学遠の住居地の市町村保険者番号を設定する。	○	
77		個人異動履歴_原爆区分	英数	1	原爆適用医療対象かどうかの区分を設定する。 0:非該当 1:原爆該当	◎	
78	別子 終了 識	終了識別子	英数	2	「E2」を設定する。	◎	
79	被保証等履歴 (※7)	被保証等履歴_証区分	英数	2	証区分を設定する。 01:被保険者証(一般) 02:被保険者証(退職) 03:短期被保険者証(一般) 04:短期被保険者証(退職) 05:資格証明書	○	
80		被保証等履歴_交付年月日	英数	8	証の交付年月日を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	
81		被保証等履歴_有効期限	英数	8	証の有効期限を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	
82		被保証等履歴_適用年月日	英数	8	証の適用年月日を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	
83		被保証等履歴_回収日	英数	8	証の回収日を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	※4 2
84		被保証等履歴_回収事由	英数	2	証の回収事由を設定する。	○	※2 0 ※4 2
85	別子 終了 識	終了識別子	英数	2	「E3」を設定する。	◎	

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
86	高齢受給者証履歴 (※7)	高齢受給者証履歴_交付年月日	英数	8	高齢受給者証の交付年月日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
87		高齢受給者証履歴_有効期限	英数	8	高齢受給者証の有効期限を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
88		高齢受給者証履歴_発効期日	英数	8	高齢受給者証の発効期日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
89		高齢受給者証履歴_一部負担金割合	英数	1	高齢受給者証の一部負担金の割合を設定する。 1:1割 2:2割 3:3割 4:4割 5:5割 6:6割 7:7割 8:8割 9:9割	○	
90		高齢受給者証履歴_回収日	英数	8	高齢受給者証の回収日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	※42
91		高齢受給者証履歴_回収事由	英数	2	高齢受給者証の回収事由を設定する。	○	※20 ※42
92	別子 終了識	終了識別子	英数	2	「E4」を設定する。	◎	
93	各種証履歴 (※8)	各種証履歴_証区分	英数	2	管理する証の種類を表す区分を設定する。 07: 限度額適用認定証 08: 限度額適用・標準負担額減額認定証 09: 標準負担額減額認定証 10: 特定疾病療養受療証 11: 一部負担金減免等証明書	○	
94		各種証履歴_交付年月日	英数	8	証の交付年月日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
95		各種証履歴_有効期限	英数	8	証の有効期限を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
96		各種証履歴_発効期日	英数	8	証の発効期日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	
97		各種証履歴_回収日	英数	8	証の回収日を西暦年月日 (YYYYMMDD) で設定する。	○	※42
98		各種証履歴_回収事由	英数	2	証の回収事由を設定する。	○	※20 ※42

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
99		各種証履歴_限度額適用区分	英数	1	限度額適用認定証の適用区分を設定する。 0:一般所得の世帯 1:低所得の世帯(限度額適用・標準負担額減額認定証の発効時) 2:上位所得の世帯 3:低所得の世帯(標準負担額減額認定証の発効時) 4:限度額適用認定証の交付なし 5:区分アの世帯 6:区分イの世帯 7:区分ウの世帯 8:区分エの世帯 9:区分オの世帯(限度額適用・標準負担額減額認定証の発効時)	○	
100		各種証履歴_長期入院該当年月日	英数	8	標準負担額減額認定証の長期入院該当年月日を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	
101		各種証履歴_自己負担限度額	英数	5	特定疾病療養受療証の自己負担限度額を設定する。	○	
102		各種証履歴_認定疾病名コード	英数	1	特定疾病療養受療証の認定疾病名コードを設定する。 1:人工透析を必要とする慢性腎不全 2:血漿分画製剤を投与している先天性血液凝固第Ⅷ、第Ⅸ因子障害 3:抗ウイルス剤を投与している後天性免疫不全症候群	○	
103		各種証履歴_減免等証明(証明区分)	英数	1	一部負担金減免等証明書の証明区分を設定する。 1:減額 2:免除 3:徴収猶予 4:一部負担金等免除	○	※22
104		各種証履歴_減免等証明(割合)	英数	2	一部負担金減免等証明書の割合を設定する。 01:1割 02:2割 03:3割 04:4割 05:5割 06:6割 07:7割 08:8割 09:9割 10:10割	○	※22
105		各種証履歴_減免等証明(開始年月日)	英数	8	一部負担金減免等証明書の期間(開始年月日)を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	※22
106		各種証履歴_減免等証明(終了年月日)	英数	8	一部負担金減免等証明書の期間(終了年月日)を西暦年月日(YYYYMMDD)で設定する。	○	※22
107	別子 終了識	終了識別子	英数	2	「E5」を設定する。	◎	

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
108	予備項目	予備1	英数	30	予備項目。市町村にて管理している独自の値を任意で設定する。	△	※44
109		予備2	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
110		予備3	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
111		予備4	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
112		予備5	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
113		予備6	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
114		予備7	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
115		予備8	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
116		予備9	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
117		予備10	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	

- ※1 必須区分 (◎：必須、○：パターン毎に必須、△：任意設定、—：NULL (設定しない))
- ※2 被保険者証記号・被保険者証番号を世帯単位ではなく、被保険者単位で設定している場合、個人特定情報の世帯番号には世帯番号を設定する。
- ※3 被保険者証記号がある場合は設定する。
- ※4 国保情報集約システムに連携する場合、該当被保険者 (学遠該当および住所地特例該当を含む) に付与されている最新の個人番号 (マイナンバー) を設定する。なお、番号法の施行日 (2015年10月5日) より前に国保資格を喪失している、または住登外フラグが「1：住登外」の場合、個人番号 (マイナンバー) が未設定でもクリティカルエラーとしない。
- ※5 市町村被保険者IDは、該当被保険者に付番されている最新の市町村被保険者IDを設定する。なお、市町村被保険者IDについては、国保情報集約システムにて創成するものであるため、初回の連携時は未設定とし、IDが創成された以降は該当する市町村被保険者IDを設定する。また、国保の適用を終了した後に、同じ市町村にて再度国保の適用を開始する場合、適用終了前に付番されていた市町村被保険者IDを設定する。
- ※6 履歴は先頭を最新の履歴とし、以降、遡って設定する。なお、設定可能な履歴の数は、最新の履歴から数えて99履歴とする。
- ※7 履歴は先頭を最新の履歴とし、以降、遡って設定する。なお、設定可能な履歴の数は、最新の履歴から数えて20履歴とする。
- ※8 履歴は先頭を最新の履歴とし、以降、遡って設定する。なお、設定可能な履歴の数は、最新の履歴から数えて30履歴とする。
- ※9 市町村から国保情報集約システムに連携する際は、文字切れがある場合に「1：文字切れ」を設定す

る。国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する際は、文字切れおよび未登録外字がある場合に「1：文字切れ」、「2：未登録外字あり」または「3：文字切れ、未登録外字あり」のいずれかを設定する。

- ※10 続柄は3世代まで設定する。2世代目以降は未設定も可とする。続柄コードの内容については「表3-8 続柄コード」を参照。
- ※11 郵便番号が不明の場合、「000-0000」を設定する。
- ※12 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村から転入して国保の適用を開始した場合に、国保適用開始事由を「01：転入」とし、住基転入前コードを設定する。
また、住基転入前コードが不明の場合、「00000」を設定する。
- ※13 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村へ転出して国保の適用を終了した場合に、国保適用終了事由を「41：転出」とし、住基転出先コードを設定する。
また、住基転出先コードが不明の場合、「00000」を設定する。
- ※14 国保適用開始事由コードの内容については「表3-5 国保適用開始事由コード」を参照。
- ※15 国保適用終了事由コードの内容については「表3-6 国保適用終了事由コード」を参照。
- ※16 国保適用変更事由コードの内容については「表3-7 国保適用変更事由コード」を参照。
- ※17 擬制世帯主の場合、設定しない。
- ※18 国保資格取得事由コードの内容については「表3-9 国保資格取得事由コード」を参照。
- ※19 国保資格喪失事由コードの内容については「表3-10 国保資格喪失事由コード」を参照。
- ※20 回収事由コードの内容については「表3-12 回収事由コード」を参照。
- ※21 異動事由コードの内容については「表3-11 異動事由コード」を参照。
- ※22 各種証履歴 証区分が「11：一部負担金減免等証明書」の場合に設定する。
- ※23 個人番号（マイナンバー）が変更された場合、変更後の個人番号（マイナンバー）を設定し、異動事由に「80：個人番号変更」を設定する。
- ※24 半角のアルファベットの設定も可とする。
- ※25 全角のアルファベットの設定も可とする。
- ※26 未登録外字が設定されている場合、国保情報集約システムにて「△」（デルタ）に変換する。国保情報集約システムから次期国保総合システムに連携する際は、「△」（デルタ）をそのまま設定する。
- ※27 本名通称名区分コードが「1：通称名」の場合、必須とする。
- ※28 都道府県名、市町村名および政令市の区名を含めた住所を設定する。
- ※29 番地を住所に含めて設定する場合、番地に全角スペースを1つ以上設定する。
- ※30 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格取得届出日を設定する。
- ※31 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格取得年月日を設定する。
- ※32 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格喪失届出日を設定する。
- ※33 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格喪失年月日を設定する。なお、国保資格を喪失した翌日ではなく当日として管理していた場合、国保資格喪失年月日の翌日を設定する。
- ※34 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格変更届出日を設定する。
- ※35 セットアップ時は従来（平成30年4月1日より前）の国保資格変更年月日を設定する。
- ※36 同日得喪とする場合、国保適用終了年月日に国保適用開始年月日と同日を設定する。
- ※37 同日得喪とする場合、給付開始年月日および給付終了年月日は未設定とする。
- ※38 擬制世帯主の場合、給付は発生しない。そのため、国保適用開始事由が「10：月報外」の場合、給付開始年月日および給付終了年月日は未設定とする。
- ※39 国保資格を取得した当日に他保険（社会保険制度または後期高齢者医療制度）へ加入し、国保資格を取得した翌日に国保資格を喪失した場合、給付は発生しない。そのため、国保資格の適用期間が1日（国保適用終了年月日 - 国保適用開始年月日 = 1日）である、かつ国保適用終了事由

が「42：社保加入」、「51：後期高齢者医療制度加入（年齢到達）」または「52：後期高齢者医療制度加入（障害認定）」のいずれかである場合、給付開始年月日および給付終了年月日は未設定とする。

- ※40 他保険（社会保険制度または後期高齢者医療制度）へ加入する場合、他保険（社会保険制度または後期高齢者医療制度）の給付が優先となる。そのため、国保適用終了事由が「42：社保加入」、「51：後期高齢者医療制度加入（年齢到達）」または「52：後期高齢者医療制度加入（障害認定）」のいずれかである場合、給付終了年月日は国保適用終了年月日の2日以前の日付（国保適用終了年月日 - 給付終了年月日 \geq 2日）を設定する。なお、国保適用終了事由が「42：社保加入」、「51：後期高齢者医療制度加入（年齢到達）」または「52：後期高齢者医療制度加入（障害認定）」以外である場合、給付終了年月日は国保適用終了年月日の1日以前の日付（国保適用終了年月日 - 給付終了年月日 \geq 1日）を設定する。
- ※41 制度が「2：退職家族」の場合、退職本人と同じ識別番号を設定する。
- ※42 回収日および回収事由は、新たに履歴を追加せず、当該証の発行履歴を更新する。
- ※43 資格得喪履歴および個人異動履歴における履歴の取扱いについては以下のとおりとする。
 - ・国保の適用を開始する異動が発生した場合、資格得喪履歴および個人異動履歴に履歴を追加する。ただし、国保の適用を終了した後、同じ市町村にて再度国保の適用を開始する際、適用終了前に使用していた個人特定情報（市町村保険者番号、被保険者証記号・被保険者証番号、世帯番号、宛名番号および行政区保険者番号）を使用する場合は、個人異動履歴に履歴を追加しない。
 - ・資格の得喪にかかわらない異動（国保の適用を開始する異動、国保の適用を終了する異動、または国保の適用情報を変更する異動のいずれにも該当しない異動）が発生した場合、資格得喪履歴には履歴を追加せず、個人異動履歴に履歴を追加する。
 - ・適用開始後に資格の得喪にかかわる異動（国保の適用を終了する異動、または国保の適用情報を変更する異動）が発生した場合、資格得喪履歴に履歴を追加し、個人異動履歴には履歴を追加しない。
- ※44 本項目については、国保連合会の指示に従って値を設定する。なお、設定した値については、国保情報集約システムに取り込み、次期国保総合システムに連携する。
- ※45 市町村合併・旧番号情報には市町村内の異動において、個人特定情報を変更した際、変更前の個人特定情報を設定する。このとき、変更前の個人特定情報（市町村保険者番号、被保険者証記号・被保険者証番号、世帯番号、宛名番号および行政区保険者番号）のうち、変更した項目のみを設定する。
- ※46 国保適用終了事由が「51：後期高齢者医療制度加入（年齢到達）」の場合、75歳誕生日の翌日を設定する。ただし、閏日（2月29日）生まれの場合には3月1日生まれの被保険者と同様の扱いとなるため、3月2日を設定する。
- ※47 員番を使用する市町村は、世帯内で個人を特定する番号を設定する。このとき、次期国保総合システムから連携される保険者契約情報管理マスタ（保険者管理情報）の市町村個人管理番号導出元区分には「3：宛名番号」以外を設定する必要がある。

【資格情報（個人）ファイルの補足（コード表）】

国保適用開始事由コード表

表 3-5 国保適用開始事由コード

No.	コード記号	意味
1	01	転入（※1）
2	02	社保離脱
3	03	生保廃止
4	04	出生
5	05	世帯分離
6	06	世帯合併
7	07	転居
8	08	職権回復
9	09	その他（※2）
10	10	月報外（※3）
11	11	市町村合併
12	13	後期高齢者医療制度離脱
13	14	月中社保離脱（※4）
14	15	月中国保組合離脱（※5）
15	16	世帯間異動

- ※1 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村から転入した場合に設定する。また、他都道府県または国外から転入した場合に設定する。
- ※2 国保適用開始事由のコード記号01～08、10～16に該当しない事由の場合に設定する。なお、「15：月中国保組合離脱」に該当しない国保組合離脱の場合にも設定する。
- ※3 世帯主区分が擬制世帯主である世帯主が適用を開始する場合に設定する。
- ※4 世帯主が75歳年齢到達により社保離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が国民健康保険制度に加入する場合に設定する。
- ※5 世帯主が75歳年齢到達により国保組合離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が市町村の国民健康保険制度に加入する場合に設定する。

国保適用終了事由コード表

表 3-6 国保適用終了事由コード

No.	コード記号	意味
1	41	転出（※1）
2	42	社保加入
3	43	生保開始
4	44	死亡
5	45	世帯分離
6	46	世帯合併
7	47	転居
8	48	職権抹消（※3）
9	49	その他（※2）
10	50	月報外（※4）
11	51	後期高齢者医療制度加入（年齢到達）

No.	コード記号	意味
12	52	後期高齢者医療制度加入（障害認定）
13	54	世帯間異動

- ※1 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村へ転出した場合に設定する。また、他都道府県または国外へ転出した場合に設定する。
- ※2 国保適用終了事由のコード記号 41～48、50～54 に該当しない事由の場合に設定する。
- ※3 国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日の場合、1日も国保資格を有していない被保険者として扱う。
また、国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日でない場合、国保適用開始年月日から国保適用終了年月日の前日までを国保資格を有している期間として扱う。
- ※4 世帯主区分が擬制世帯主である世帯主が適用を終了する場合に設定する。

国保適用変更事由コード表

表 3-7 国保適用変更事由コード

No.	コード記号	意味
1	21	退職該当（本人）
2	22	退職該当（家族）
3	23	老人保健該当（70歳到達）
4	24	老人保健該当（ねたきり）
5	25	資格証明該当
6	26	高額限度額区分該当
7	31	退職非該当（本人）
8	32	退職非該当（家族）
9	33	老人保健非該当（70歳到達）
10	34	老人保健非該当（ねたきり）
11	35	資格証明非該当
12	36	高額限度額区分非該当
13	70	その他（※1）

- ※1 国保適用変更事由のコード記号 21～26、31～36 に該当しない事由の場合に設定する。

続柄コード表

表 3-8 続柄コード

No.	コード記号	意味
1	01	世帯主
2	02	夫
3	03	妻
4	08	夫（未届け）
5	09	妻（未届け）
6	33	子
7	34	父
8	35	母
9	36	義父

No.	コード記号	意味
10	37	義母
11	41	兄
12	42	弟
13	43	姉
14	44	妹
15	45	祖父
16	46	祖母
17	51	縁故者
18	52	同居人
19	99	その他

国保資格取得事由コード表

表 3-9 国保資格取得事由コード

No.	コード記号	意味
1	01	転入 (※1)
2	02	社保離脱
3	03	生保廃止
4	04	出生
5	08	職権回復
6	09	その他 (※2)
7	13	後期高齢者医療制度離脱
8	14	月中社保離脱 (※3)
9	15	月中国保組合離脱 (※4)

- ※1 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村から転入した場合に設定する。また、他都道府県または国外から転入した場合に設定する。
- ※2 国保資格取得事由のコード記号 01～08、13～15 に該当しない事由の場合に設定する。なお、「15：月中国保組合離脱」に該当しない国保組合離脱の場合にも設定する。
- ※3 世帯主が 75 歳年齢到達により社保離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が国民健康保険制度に加入する場合に設定する。
- ※4 世帯主が 75 歳年齢到達により国保組合離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が市町村の国民健康保険制度に加入する場合に設定する。

国保資格喪失事由コード表

表 3-10 国保資格喪失事由コード

No.	コード記号	意味
1	41	転出 (※1)
2	42	社保加入
3	43	生保開始
4	44	死亡
5	48	職権抹消 (※3)
6	49	その他 (※2)
7	51	後期高齢者医療制度加入 (年齢到達)
8	52	後期高齢者医療制度加入 (障害認定)

- ※1 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村へ転出した場合に設定する。また、他都道府県または国外へ転出した場合に設定する。
- ※2 国保資格喪失事由のコード記号 41～48、51～52 に該当しない事由の場合に設定する。
- ※3 国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日の場合、1日も国保資格を有していない被保険者として扱う。
また、国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日でない場合、国保適用開始年月日から国保適用終了年月日の前日までを国保資格を有している期間として扱う。

異動事由コード表

表 3-11 異動事由コード

No.	コード記号	意味
1	01	転入 (※1)
2	02	社保離脱
3	03	生保廃止
4	04	出生
5	05	世帯分離
6	06	世帯合併
7	07	転居
8	08	職権回復
9	09	その他 (※2)
10	10	月報外 (※6)
11	11	市町村合併
12	13	後期高齢者医療制度離脱
13	14	月中社保離脱 (※7)
14	15	月中国保組合離脱 (※8)
15	16	世帯間異動
16	41	転出 (※3)
17	42	社保加入
18	43	生保開始
19	44	死亡
20	45	世帯分離
21	46	世帯合併
22	47	転居
23	48	職権抹消 (※9)
24	49	その他 (※4)
25	50	月報外 (※10)
26	51	後期高齢者医療制度加入 (年齢到達)
27	52	後期高齢者医療制度加入 (障害認定)
28	54	世帯間異動
29	61	氏名変更
30	63	世帯主変更
31	65	学遠区分変更
32	70	その他 (※5)
33	74	世帯分離

No.	コード記号	意味
34	75	世帯合併
35	80	個人番号変更
36	98	訂正

- ※1 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村から転入した場合に設定する。また、他都道府県または国外から転入した場合に設定する。
- ※2 異動事由のコード記号 01～08、10～16 に該当しない事由の場合に設定する。なお、「15：月中国保組合離脱」に該当しない国保組合離脱の場合にも設定する。
- ※3 国民健康保険制度に加入している状態で、同一都道府県内の他市町村へ転出した場合に設定する。また、他都道府県または国外へ転出した場合に設定する。
- ※4 異動事由のコード記号 41～48、50～54 に該当しない事由の場合に設定する。
- ※5 異動事由のコード記号 61～65、74～98 に該当しない事由の場合に設定する。
- ※6 世帯主区分が擬制世帯主である世帯主が適用を開始する場合に設定する。
- ※7 世帯主が75歳年齢到達により社保離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が国民健康保険制度に加入する場合に設定する。
- ※8 世帯主が75歳年齢到達により国保組合離脱して後期高齢者医療制度に加入し、世帯員が市町村の国民健康保険制度に加入する場合に設定する。
- ※9 国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日の場合、1日も国保資格を有していない被保険者として扱う。
また、国保適用開始年月日と国保適用終了年月日が同日でない場合、国保適用開始年月日から国保適用終了年月日の前日までの国保資格を有している期間として扱う。
- ※10 世帯主区分が擬制世帯主である世帯主が適用を終了する場合に設定する。

回収事由コード表

表 3-12 回収事由コード

No.	コード記号	意味
1	01	喪失
2	02	書き換え
3	03	郵便返戻
4	04	紛失
5	05	汚破損
6	06	期限切れ
7	07	未回収
8	08	誤入力
9	09	滞納解除
10	10	その他

3.3 世帯所得区分情報ファイル (市町村→国保情報集約システム)

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
1	世帯特定情報	市町村保険者番号	英数	8	所属市町村の保険者番号を設定する。所属市町村が政令市の場合は政令指定都市代表コードを設定する。 (法別(00) + 都道府県コード(01~47) 2桁 + 保険者(市町村)別番号 3桁 + チェックデジット 1桁)	◎	
2		被保険者証記号	漢字 / 英数	20	国保被保険者証の記号を設定する。	○	※2 ※3
3		被保険者証番号	漢字 / 英数	20	国保被保険者証の番号を設定する。	◎	※2
4		世帯番号	英数	11	世帯番号により世帯を管理している市町村の場合、所属市町村内で世帯を特定する番号を設定する。	○	※2
5	世帯所得区分情報	年度	英数	4	年度を西暦(YYYY)で設定する。	◎	
6		所得区分	英数	12	該当年度の所得区分を1ヵ月ごとに設定する。 (8月~7月) ・平成26年12月まで 0:課税 1:非課税 2:上位所得者 ・平成27年1月以降 5:区分ア 6:区分イ 7:区分ウ 8:区分エ 9:区分オ なお、該当年月において国保資格を有している世帯員が存在しない場合、所得区分に空白を設定する。 設定例) 10月に国保資格を取得した「区分ウ」世帯の場合 (△:空白) ⇒△△7777777777	◎	※4

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
7		高齢所得区分	英数	12	該当年度の高齢所得区分を1ヵ月ごとに設定する。 (8月～7月) 1:一般 2:現役並み所得者 3:低所得者Ⅱ 4:低所得者Ⅰ なお、該当年月において国保資格を有している70歳以上の世帯員が存在しない場合、高齢所得区分に空白を設定する。 設定例) 10月に国保資格を取得した一般世帯の場合(△:空白) ⇒△△1111111111	○	※5
8	予備項目	予備1	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
9		予備2	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
10		予備3	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
11		予備4	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
12		予備5	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
13		予備6	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
14		予備7	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
15		予備8	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
16		予備9	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
17		予備10	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	

※1 必須区分(◎:必須、○:パターン毎に必須、△:任意設定、—:NULL(設定しない))

※2 被保険者証記号・被保険者証番号を世帯単位ではなく、被保険者単位で設定している場合、世帯特定情報の被保険者証記号・被保険者証番号には世帯主の被保険者証記号・被保険者証番号を設定し、世帯特定情報の世帯番号には世帯番号を設定する。

※3 被保険者証記号がある場合は設定する。

※4 所得不明の場合、空白または市町村で管理する所得不明に係る所得区分を設定する。

※5 所得不明の場合、空白または市町村で管理する所得不明に係る高齢所得区分を設定する。

3.4 高額該当情報ファイル（市町村） （市町村→国保情報集約システム）

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
1	世帯特定情報	市町村保険者番号	英数	8	所属市町村の保険者番号を設定する。所属市町村が政令市の場合は政令指定都市代表コードを設定する。 (法別(00) + 都道府県コード(01~47) 2桁 + 保険者(市町村)別番号 3桁 + チェックデジット 1桁)	◎	
2		高額連携元区分	英数	1	市町村または次期国保総合システムのどちらから連携されたかを判断するための区分を設定する。 1: 市町村 2: 次期国保総合システム	◎	
3		被保険者証記号	漢字 / 英数	20	国保被保険者証の記号を設定する。	○	※2 ※3
4		被保険者証番号	漢字 / 英数	20	国保被保険者証の番号を設定する。	◎	※2
5		世帯番号	英数	11	世帯番号により世帯を管理している市町村の場合、所属市町村内で世帯を特定する番号を設定する。	○	※2
6	高額該当情報	年度	英数	4	年度を西暦(YYYY)で設定する。なお、「2018」年度以降を設定する。	◎	
7		高額該当区分	英数	12	該当年度の高額該当区分を1ヵ月ごとに設定する。 (4月~3月) 0: 非該当(自市町村: 非該当、 他市町村: 非該当) 1: 該当(自市町村: 該当、 他市町村: 非該当) 2: 該当(自市町村: 非該当、 他市町村: 該当) 3: 該当(自市町村: 該当、 他市町村: 該当) 設定例) 5月に他市町村で国保資格取得し5月~7月が他市町村で該当、7月に同一都道府県内市町村間転居し7月~9月が自市町村で該当、10月以降が未実施の場合 ⇒02231100000	◎	※4 ※5 ※6

No.	情報	項目名	属性	最大桁数	内容	必須区分 (※1)	備考
8	予備項目	予備1	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
9		予備2	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
10		予備3	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
11		予備4	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
12		予備5	英数	30	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
13		予備6	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
14		予備7	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
15		予備8	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
16		予備9	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	
17		予備10	漢字	50	予備項目。今後の制度改正時に使用する。	—	

※1 必須区分 (◎：必須、○：パターン毎に必須、△：任意設定、—：NULL (設定しない))

※2 被保険者証記号・被保険者証番号を世帯単位ではなく、被保険者単位で設定している場合、世帯特定情報の被保険者証記号・被保険者証番号には世帯主の被保険者証記号・被保険者証番号を設定し、世帯特定情報の世帯番号には世帯番号を設定する。

※3 被保険者証記号がある場合は設定する。

※4 高額療養費の算定が行われていない月については、「0：非該当 (自市町村：非該当、他市町村：非該当)」を設定する。

※5 12ヵ月分 (12桁) 設定する。

※6 例えば、世帯を被保険者証記号・被保険者証番号で管理している市町村において、平成30年7月に世帯合併を行い、被保険者証記号・被保険者証番号に変更があった場合で、世帯合併前後の世帯において世帯の継続性を認めるとき、市町村にて世帯合併前の世帯の高額該当情報を世帯合併後の新規の世帯に引き継いだ上で高額該当情報ファイル（市町村）を国保情報集約システムに連携する。

世帯合併前の世帯

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平成30年度	高額該当区分	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

↓ 市町村内の引き継ぎ

世帯合併後の新規世帯

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平成30年度	高額該当区分	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

連携 国保情報集約システム



年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平成30年度	高額該当区分	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0